

ロタウイルスワクチンの説明書

生ワクチン
経口

ロタウイルスとは	ロタウイルスは急性胃腸炎をおこします。乳幼児に多くおこる胃腸炎のひとつです。乳幼児がおこすと激しい下痢・嘔吐により脱水症状を起こしやすく、まれに脳や腎臓などに影響を及ぼすこともあります。	
ワクチンの種類	ロタリックス (経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン)	ロタテック (五価経口弱毒生ロタウイルスワクチン)
接種対象年齢 接種回数・間隔	出生6週0日後から24週0日後までに 27日以上の間隔をおいて2回	出生6週0日後から32週0日後までに 27日以上の間隔をおいて3回
	<p>※初回接種は出生14週6日後までに完了してください。標準的な開始日は生後2か月です。</p> <p>※途中でワクチンの種類は変更することはできません。1回目に接種したワクチンの規定回数を接種してください。</p> <p>※ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませんので、再度接種する必要はありません。</p>	
ワクチンの副反応	<p>主な副反応は、ぐずり、下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱、咳・鼻水などです。</p> <p>接種後に腸重積症のリスクが少し増加することが報告されています。</p>	
	<p>予防接種を受けたあと、副反応がおこった場合は医師の診察・治療を必ず受けてください。</p> <p>その後、東大阪市保健所までご連絡ください。</p>	
受けることができない人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明らかに発熱している人（通常は37.5℃を超える場合） ○ 重い急性疾患にかかっている人 ○ このワクチンの成分によってアナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応）をおこしたことがある人 ○ 腸重積症をおこしたことがある人 ○ 腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管疾患がある人 ○ 重症複合型免疫不全（SCID）がある人 ○ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた人 	
予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある人 ○ 過去に予防接種を受けたとき、接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた人 ○ 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある人 ○ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある人、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる人 ○ このワクチンに含まれる成分にアレルギーをおこすおそれのある人 ○ 胃腸障害がある人 	
ワクチン接種後の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○ 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。 ○ 健康状態の観察を行い、体調の変化に十分注意し、高熱・けいれん・腸重積症と思われる症状（泣いたり不機嫌になったりを繰り返す、嘔吐を繰り返す、ぐったりして顔色が悪くなる、血便がでるなど）がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。 ○ 接種後にウイルスが便などを介して家族や周りの人に感染することもあります。おむつを交換した後は手洗いをするなど注意してください。特に免疫力が低下した人と密接な接触がある場合には注意してください。 ○ 接種当日は過度な運動を控え、1週間は体調に注意しましょう。 ○ 接種当日の入浴制限や母乳を含む固形食及び流動食に関する制限はありません。 ○ このワクチンと他のワクチンの同時接種を希望する場合は、医師にご相談ください。 	